

九国の扉

キュウトビ

学校法人九州国際大学
学園広報誌「キュウトビ」
vol.5/2009 秋号
発行日/2009年11月30日



特集

九国大のキャリア支援

文科省採択 一学生支援推進プログラム
九国大のキャリア支援が就職活動をアツくする。

TOPIQ

九国の挑戦者たち

学園で活躍する九国の学生、生徒を紹介！

80年史写真館「学校法人九州国際大学の歩み」



開講当時の授業風景

1930年（昭和5年）、のちに九州国際大学となる「九州法学校」は、開講初年度、人文社会科学系の高等教育機関がこれまで九州に存在していなかったこともあり、学生募集を伝え聞いて集まるものも多く、初年度入学者は本科生・選科生合わせて二二二名、聴講生は五五名を数えた。

また、本校の「北九州青壮年の文化向上と法律・経済の知識を授けると共に、整的精神によって誠実有為なる人材を育成する」という設立趣旨に賛同した入学者のほとんどは、職業を持つ社会人であり、二十歳代がもっとも多く、三十歳を越えた学生も二割を占めていたという。そのため、講師と学生の年齢は一般の通年からすれば、逆の場合さえあった。



今年で55回目となる九州国際大学大学祭ステージでの一コマ。過去最大規模の模擬店が出店した今年の大学祭は、大変な賑わいでした。

03

(付属中学・高等学校一貫部行事)

創立10周年記念演奏会

「創立10周年記念演奏会での至福のひと時」

04

(付属高校行事)

付属高校体育大会

「男子だけ、女子だけの体育大会は、これで見納め……」

05

(付属高校行事)

豪州ホームステイ

「私の一生の財産です」

06

(大学行事)

「朝鮮半島南部に

倭人が造った前方後円墳

「千数百年の時を越えた

古代九州の国際交流」

07

(九国の挑戦者たち)

TOPIQ

・全国中学校バドミントン大会第3位の感想 中村麻裕さん
・全国高等学校弁論大会 最優秀賞 古海千明さん
・北海道日本ハムファイターズ
ドラフト3位指名 加藤政義さん
・読売巨人軍 ドラフト育成枠2位指名 河野元貴さん

09

(学園OB紹介)

九国DNA

「若松 花のチモト」
迫田 一基さん

11

(過去3ヶ月分の記事を掲載)

「メディアダイジェスト」

(伊・北九州学)

近代化遺産の旅

八幡製鐵所 遠賀川水源 「中間ポンプ室」

14

(文部省採択「学生支援推進プログラム」)

九国大のキャリア支援が

就職活動をアツくする。

付属中学・高等学校一貫部

創立10周年記念演奏会



創立10周年記念演奏会での至福のひと時

今日に至るまで脈々と受け継がれている中高一貫部の活動の一つに、「合唱コンクール」があります。毎年12月に超一流ホールの「響きホール」で開催する合唱コンクールのプログラムのひとつに、「優れたアーティストの生の音楽を聴く」という（短い時間の）企画があります。今回は、創立10周年を迎えるにあたって、これをさらに充実・グレードアップさせ、会場もウェルとばたに改め、記念講演会と称して九州交響楽団をお招きしました。指揮は、栗田哲海氏です。

さらに、本校校歌である「勇氣の風」の編曲、演奏も同時にお願いをしていたのですが、九響の方々は、リハーサルが初見であるにもかかわらず、見事な演奏をご披露していただきました。実は、当初は演奏のみで予定でしたが、九響からこの機会に生徒による合唱も一緒に行いたいという提案をいただきました。あつかましくもはじめに演奏をご披露いただき、次いで生徒の歌と一緒に披露するという夢のようなプログラムを実現することができました。生徒たちの歌声はいつもよりましてすばらしく、私たちは胸が熱くなる思いを感じました。この感動を後々まで引き継いでいきたいという思いで、この度、創立10周年の記念といたしましてCDを作成することになりました。現在、鋭意作成に努めているところです。この広報誌がお手元に届くころには、お披露目をさせていたかどうか定となっておりますので、どうぞご期待ください。

（文・付属中学校
八山廣校長）

九国大HPの検索ボックスに打ち込んでください

付属中学校

検索

付属中学校に関する記事をご覧いただけます。

付属高校

付属高校 体育大会



男子部
体育大会

女子部
体育大会

男子だけ、女子だけの 体育大会はこれで見納め…

女子部の体育大会では、大玉ころがし、パン食い競争、綱引き、36人37脚、ムカデ競争、玉入れ、フット

今年、「オトこくさい体育大会」と題して行われた男子部では、俊足精鋭ぞろいの対抗リレー、気迫みなぎる闘志のぶつかり合いに沸く騎馬戦、教職員をドラマやコミックの主人公に仕立てた仮装など、男子部らしく汗と笑いに包まれて、あっという間にプログラムは過ぎて行きました。例年は、各学年を2ブロックに分けて競技が行われていましたが、今年は初の3学年混成ということもあり、先輩の激励に後輩達も大いに士気が上がったようです。

9月5日(土)、20日(日)に付属高校男子部・女子部の体育大会がそれぞれ開催されました。今年は、両日とも秋の気配を感じさせる清涼な空気が、生徒たちの熱気を優しくぬぐってくれる素晴らしい天気を迎えられました。観戦に来校された方々も例年より多く、男子部・女子部に分かれて行われる最後の体育祭に花を添えました。

新年度からの男女共学化に向けて、いろいろな試みがなされた体育大会でしたが、思い出に残る素晴らしい秋の一日となりました。

クダンスなど、楽しいプログラムが催されました。ひと際盛り上がったのが、生徒が先生を仮装する「ザ☆マジカルショー」。手作りの衣装とメイクで扮装した先生に観客は大爆笑(詳しくは、女子部ホームページをご覧ください)。グラウンドを1周する先生に歓声の嵐が湧き起こり、キャラクターになりきってポーズをとる先生は記念撮影の的となりました(笑)。

リレーでは先生チームも参加して、心は17才とばかりに全力でグラウンドを駆け抜けました。そして必見は、チアリーダーと型の披露による女子部伝統の応援合戦。夏休み前から、ほぼ連日、衣装の制作や練習に励む彼女たちの熱意に感心しながら見守っていましたが、当日登場したチアリーダーの衣装は、可愛らしく見事な出来栄。型の衣装も勇ましく、長着を風になびかせて歩く姿は、颯爽としていて本当に凛々しく見とれてしまいました。



付属高校

豪州ホームステイ



「私の一生の財産です」

今年のオーストラリアホームステイ[※]には、女子部国際教養クラスの生徒12人が参加しました。付属高校の姉妹校、ウオールフォード校（アデレード）で、語学研修をみっちり受けた後、市内観光を堪能しました。その後、シドニーに移動し、こちらでも充実した市内観光が生徒たちの好奇心を驚かす。

オーストラリアのアウトホームな家庭環境など、それぞれが素晴らしい思い出を持ち帰ることができました。自然の美しさやホストファミリーとの出会いに感動した生徒、英語を更に頑張ろうと意欲の湧いた生徒、皆さんたくさんの素晴らしい思い出を手に入れることができました。ここで、生徒たちのコメントを紹介します。

「山を歩けば野生のコアラがいて、家の庭に出てみればポッサムがいて、日本にはない環境での生活ができて、本当に感動しました」、「オペラハウスを見た時、本当にシ

ドニーに来たんだという実感が湧きました。ホストファミリーにいろいろな場所に連れて行ってもらえて本当に感謝しています」、「ホストファミリーが、私の英語を一生懸命に聞いて、理解しようとしてくれたので、異国の地で何も分からなかった私に勇気と自信を与えてくれました。『通訳になって帰っておいで』というホストマザーの励ましの言葉が本当に嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。夢を実現したいという目標ができました」、「ホームステイで一番苦労したコミュニケーションゲームや卓球、自転車でのツーリングをとおして、言葉がうまく通じなくても、とても楽しくコミュニケーションをとることができました。このホストファミリーに巡り合えて本当に良かった。アデレードで過ごした日々は私の一生の財産です。」

※13月12日から24日にかけて13日間行われました。

九国大付HP
からもご覧
いただけます。

ホームステイ

オーストラリアホームステイに関する記事
をご覧ください。

検索



大学

「朝鮮半島南部に倭人が造った前方後円墳」



主催：国際関係学部、後援：いのちの旅博物館

千数百年の時を越えた 古代九州の国際交流

11月12日(月)、文化講演会*が開かれ、学生や市民、考古学研究者など、約310人がKIUホールに集まりました。講師の韓国・慶北大学の朴天秀教授(考古学)は、60数枚のスライドを上映しながら、韓国で見られた13基の前方後円墳について解説され、いずれも5世紀末から6世紀前半にかけて九州からやってきた倭人が建造した可能性が強いとの説を展開されました。発見された前方後円墳の中には日本独特の埴輪や赤いベンガラを塗った石室、倭系の刀や武器のほかに北部九州の古墳の石室構造に酷似した石室をもつものなどがあり、これらの点から北部九州との文化的関係があることを示されました。

朴教授は「百濟、新羅、高句麗、伽耶といった韓半島内部の小国家群が軍事的対立を背景に、海を隔てて間近に存在する九州の勢力を兵力として必要とし、九州豪族との関係を維持していた」と述べられました。現在の福岡県八女市を拠点にした筑紫の豪族磐井は、反乱を起こしたとして時の大和王権に滅ぼされますが、朴教授は「磐井がある日突然、大和王権に滅ぼされたというのではなく、韓半島との交流で力を蓄えた九州勢力がピークに達したころ、それを危険視する大和王権に壊滅された」と見えています。

講演の最後に朴教授は「前方後円墳の時代よりはるか昔の縄文時代ですら倭人は丸木舟で玄界灘を越え、韓半島に渡っている。それは両国の交流の歴史は長い。双方の遺跡、交流の歴史を研究してこそ、それぞれその国の歴史の全体像が見えてくる」と締めくくられ、千数百年前の交流に思いを馳せて、講演会は幕を閉じました。



九国の挑戦者たち

1

全国中学校バドミントン大会 第3位の「感想文」
(付属中バドミントン部 主将) 中村 麻裕 さん

私たち九州付中女子バドミントン部は、日頃の厳しい練習に耐え、毎日遅くまでがんばってきました。市内大会・県大会を一位で通過し、九州大会では、前年度優勝校と決勝戦を戦いました。

私たちは「みんなで一つになって勝ちに行こう!」を合言葉に、チームの応援と自分の試合を精一杯がんばりました。優勝を決めた時には涙が止まりませんでした。

九州の代表となった私たちは、「ここまで来たら負けれない。目指すは全国の頂点!」と一生懸命練習に励みました。

全国大会では、練習の成果が現れたのか、準決勝の舞台まで勝ち進むことができました。

最後は、強い選手が集まる学校に負けてしまい、3位という結果でしたが、私たちは皆、精一杯がんばったと思います。

ここまで多くの困難がありました。みんなで乗り越えてきました。それは、指導して下さった先生方を初め、多くの方々の支えがあったからだだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、がんばって行きますので、応援よろしくお願ひします。



2

第33回全国高等学校総合文化祭(弁論部門)・
第55回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会 最優秀賞
(付属女子) 古海 千明 さん

今年8月、三重県尾鷲市で半世紀以上の歴史を誇る「第33回全国高等学校総合文化祭(弁論部門)・第55回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会」が開催された。北は北海道から南は沖縄まで、各都道府県の代表61名が集結し、弁士の頂点をかけた熱弁が繰り広げられた。

そして、見事、福岡県代表として全国の頂点に立ち、文部科学大臣賞(最優秀賞)を手にしたのが、付属高校女子部の古海千明さん。

今回、彼女が選んだテーマは、自らの介護体験を題材にした「父の居る場所」。

「介護の大変さを広く知ってもらい、介護者の社会的地位を見直して欲しいと、私なりの願いを込めました」と語る古海さん。弁論のポイントは、語りが自己中心にならないよう、そして聴く方々の気持ちを考えて話すよう心掛けることだとか。

苦勞する点は、原稿の作成らしい。資料の収集に始まり、原稿の修正作業は、苦勞の連続だったという。

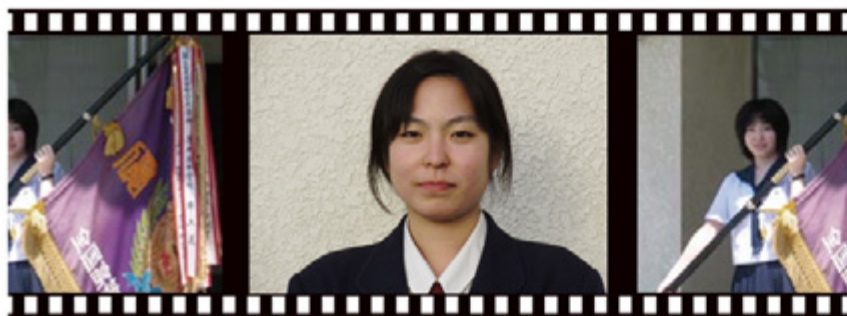
今回の優勝について、「私の思いが聴衆の皆さんに届いたんだ!と思うと、喜びで胸がいっぱいになりました。この感激は一生忘れることができないと思います。また、全国の弁士との交流も、私を成長させてくれました。応援して下さいましたすべての方々に感謝しています」と満面の笑みで喜びを表わす古海さん。

高校卒業後は、心理学を学び、困っている人を助けられる「行動する人間」を目指すという高い志を掲げる。

最後に付属高校の後輩たちに「人前で話すことが苦手だった私が、弁論を通して大勢の人たちの前で、自分の想いを伝えることができるようになりました。皆さんも高校3年間を精一杯頑張って、精一杯成長して下さい」と優しい笑顔でエールを送った。

学園全体(中学・高校・大学・大学院)のトピックをまとめてお送りする「TOPiQ」。学園はまさに人材の宝庫!

TOPiQ





北海道日本ハムファイターズ ドラフト3位指名入団 (大学) 硬式野球部 加藤 政義 さん

今年、九州六大学野球のMVP、首位打者、本塁打王に輝いた九州国際大学野球部主将、加藤政義選手。全国大会や日米大学野球でも魅せた、走攻守3拍子

揃った類まれな野球センスが評価され、今年行われたプロ野球ドラフト会議で、見事、北海道日本ハムファイターズから3位で指名を受けた。



④ 加藤選手のプロ入りを祝う仲間たち

④ 左から) 伊藤監督、加藤選手、大原野球部長

④ 日ハム3位指名を受け取材に応じる加藤選手



多くの取材陣が全国屈指の遊撃手、加藤政義選手の指名に注目した。有名投手の指名が続々と伝えられる記者会見会場。1分が何時間にも感じられるような緊張感を、一本の電話が断ち切った。それは、野球部伊藤監督の携帯電話が鳴った瞬間だった。

伊藤監督は電話を終えると、声高らかに「北海道日本ハムファイターズから3巡目で加藤政義が指名されました」と報道陣に報告した。加藤選手が小さく息を吐いたと同時に会場は歓声を上げ、眩いフラッシュが加藤選手を照らした。喜びを噛みしめる間もなく、取材の質問が飛び交う。

加藤選手は最後に、「九州で野球ができて本当に幸せでした。北九州で仲間ができたこと、そして全国で共に戦えたことは、本当にいい思い出となりました。九州国際大学でプレーすることができて良かったです」と締めくくった。



読売巨人軍 ドラフト育成枠2位指名入団 (高校) 河野 元貴 さん

今年、全国を沸かせた夏の甲子園大会。その大会で、九国大付野球部は、開幕戦の劇的勝利に始まり華々しい戦いを繰り広げ、私たちの胸を熱くした。

甲子園大会の後、九国野球部5番バッター・捕手の河野元貴君は、日本代表チームのメンバーとして、アメリカで行われた日米野球にも参加した。

小学校1年生で野球を始めて以来12年間、

いつも野球は彼と共にあった。河野君にとって野球とは、「小さい頃からの習慣」というくらい、生活の一部になっている。

念願の甲子園出場の後、更なる夢は、「プロ野球で活躍すること」。河野君はドラフト会議に夢を託し、期待と不安の中で自分の名前が呼ばれるのを待った。巨人軍育成枠2位で指名されたときは、「本当に嬉しかった」と目を細める。憧れの選手は、巨人軍のリーグ優勝に貢献した阿部慎之助選手。今後の目標は、「一日も早く、一軍でプレーできるようにすること」と語る河野君。



④ 甲子園出場を決めた日の仲間との集合写真(中央)

④ 巨人軍育成枠2位に指名され、チームメイトから祝福される河野選手(上)

④ ドラフトの行方を見守る河野選手

迫田一基

Kazuki Sakoda

若松花のチモト



Profile: 迫田一基さん、昭和47年生まれ(37歳)
2005年九州国際大学国際商学部卒業後、小倉のフラワーショップで2年間の修業を重ね、父が経営する花屋「若松花のチモト」に入社。フラワー装飾1級技能士を取得した2004年にフラワーデザイン競技の全国大会「ジャパンカップ」で全国5位に入賞(2年連続)。現在は、「若松がんばろう会」副会長として若松地区の活性化に汗を流す。

か つて日本一を誇る石炭集積港として栄えた若松港、今では石造りの岸壁と港を見下ろす朱色の若戸大橋が北九州市を代表する美観となっている。その若戸大橋のたもとにビルを構える「若松花のチモト」は、高級ブティックを連想させるお洒落なたたずまいで、落ち着いた雰囲気、ガラスとフロアを彩る数種類の花々が、通りを行き交う人々の目を惹きつけている。

大 学卒業後、父の強い勧めで2年間小倉のフラワーショップで修業を重ねた迫田さん。「花屋の仕事は、見た目の華やかさと違って、とても重労働なんです。朝7時に始まる市場の競りで花を買い付け、お店に戻ると棚に並べた花を手入れして開店に備えます。営業中も市場で購入した花の仕分けや処理作業、お店に陳列する花束やブーケを飾りつけながら、同時に配達にも出るので、ほとんど休まず働き続けている状態です。」と語る迫田さん。また、2年間で花に

対する考え方も大きく変わった。以前は、商品としてしか見ていなかった花が、アレンジ(配置)を加えることで花々の織り成す調和の世界観(フラワーデザイン)に衝撃を受け、フラワー装飾技能士を目指したそうだ。

そ の後、父が経営する「若松花のチモト」に身を置き、修業開始から9年目にして念願の「フラワー装飾1級技能士」を取得した。目標としていたフラワーデザイン競技の全国大会「ジャパンカップ」にもチャレンジし、100人を超える九州ブロックの出場者の中から代表に選ばれ、ナント、全国5位に入賞したのだ。今では、その実績を活かし、夕方、お店を閉じた後、フラワーアレンジメント教室を開いているという。80名近くの生徒さんは若松区外の方も多く、商店街のPRに広く貢献している。

そ の他、迫田さんは若松商店街連合会の若手経営者たちによる「若松がんばろう会」



の副会長として、仲間と共にさまざまなイベントを企画、商店街の活性化と若松の街づくりに力を注いでいる。

今 年1月には、若松恵比須神社の「十日恵比須」に合わせて「若松商店街元氣祭り」を開催。若松の伝統芸能「五平太ばやし」で賑やかに幕を開け、足を運んだ来場者に若松恵比須神社の縁起物の「飾り」や「やせんざい」を振る舞った。チンドンヤを懐かしそうに眺める客の群れ、スタンブラリーに参加する子供たちの様子を思い出し、「あの日は、景気の良かった若松の街を思い出すことができて、久しぶりに商店街に元氣を取り戻せました」と目を細める迫田さん。

迫 田さんは最後に「今後、自分が生まれ育った町（若松）をもっと人で溢れかえるような住みやすい町にしたいですね。子供からお年寄りまで、みんなが集うコミュニティの場として、商店街が賑わうことが僕らの目標です」と若松の明るい未来に花を添えた。



若松 花のチモト店内の様子（右上：店舗概観）

突撃
レポート

ケイコ
が
マナブ
1日体験



キュウトビ・サポーター
ケイコさん（九国大卒）
好奇心旺盛の彼女が、九国OB
の職業を体当たりレポート

今回は、忙しい迫田さん
にお願いしてフラワーアレン
ジメントを一日体験。



デザインイメージを絵にする。



つづいて、お花えらび



その間、先生はポットづくり



まずは迫田先生がコツを伝授。



精神統一にもなる楽しいひと時でした。



完成!



迫田先生が少しだけアレンジ。



デザインどおりにアレンジ。おしゃれな1枚（笑）

新聞やテレビで紹介されたタイトル

大学関連記事

- ◆日米大学野球 日本サヨナラ連覇 加藤政義選手 (西日本9/17)
- ◆読売教育ルネサンス 大学や北九州の将来を活発議論 (西日本8/4)
- ◆九州大学野球2リーグ開幕直前 九州大 加藤選手「春季の2冠王」 (朝日8/28)
- ◆九州大と福大 V争いの輪に (九州六大学野球) (西日本8/29)
- ◆九州・堀 初勝利 (九州六大学野球) (西日本8/31)
- ◆市内初6大学共同授業スタート 「あなたも関門の近代化遺跡博士」 (西日本9/15)
- ◆九州大の水久保 男5000m初V 「九州学生陸上開幕」 (西日本9/19)
- ◆新潟県体福岡の太田が重量挙げV3 & 九州大の白石がジュニア日本新 (西日本9/30)
- ◆九州六大学野球 九州・福大先勝5勝で首位守る (朝日9/30)
- ◆九州大が連覇ともえ戦制す (西日本10/6)
- ◆福岡オンライン障害 企業のリスクマネジメント コメント古原教授 (西日本10/24)
- ◆八幡東署長が講義 「危機管理アーマー プロ登壇」 (西日本10/28)
- ◆ドラフト会議 日ハム3位 加藤内野手 笑顔 (西日本10/30)

付属高校関連記事

- ◆頂点目指せ(上) 九国大付甲子園へ 「夢が目標に変わった」 (西日本7/30)
- ◆強打の九国大付が圧勝 (高校野球 福岡大会) (西日本7/30)
- ◆頂点目指せ(中) 九国大付甲子園へ 「打撃上回る守備練習」 (西日本7/31)
- ◆ウチカテ「九国大付」 「全国制覇」へ再始動 (朝日7/31)
- ◆九国大付球児「二線必勝」誓う 県庁を訪問 (朝日8/1)
- ◆頂点目指せ(下) 九国大付甲子園へ 「優勝めざし健闘誓う」 (西日本8/1)
- ◆ウチカテ「九国大付」 主将「二戦必勝で頂点へ」 甲子園出場を報告 (朝日8/1)
- ◆九国大付 3日に甲子園練習 (西日本8/1)
- ◆27年ぶりの夏 苦難越え「九州男児」に(高校野球) (朝日8/2)
- ◆九国大付の岡田マネージャー (朝日8/2)
- ◆ウチカテ「九国大付」 「甲子園で校歌を」選手ら激励受け 出発 (朝日8/3)
- ◆夢と感動呼ぶ試合を「九国大付」 甲子園デビュー (朝日8/3)
- ◆バドミントン 九国大付中学 男女優勝 (県中学校総体) (西日本8/3)
- ◆国校 打撃で存在感 九国大付が甲子園で汗 流す (朝日8/3)
- ◆ウチカテ「九国大付」 暑さ本番 守備練習に汗 流す (朝日8/3)
- ◆全国高校野球 注目の打者(河野選手) (朝日8/3)

- ◆強豪相手に闘志 九国Vvs常総 開幕試合―6年ぶり監督対決 リベンジに燃える (西日本8/6)
- ◆ウチカテ「九国大付」 常総戦の先陣 一球の怖さ 涙ぐみ (朝日8/7)
- ◆開会式リハーサル 九国大付も力強く(全国高校野球) (西日本8/7)
- ◆聖地 息子とともに 九国大付 佐伯部長(全国高校野球) (朝日8/7)
- ◆ウチカテ「九国大付」 開幕試合 両監督語る (朝日8/8)
- ◆九国大付きまじろ初戦 「常総倒し波に乗る」 (西日本8/8)
- ◆九国大付の猛打爆発「常総戦」 若生監督「3点取れば勝機」 (朝日8/8)
- ◆いざ九州対決―九国と樟南 きまじろ対戦 (朝日8/16)
- ◆九国大付 最終回戦やか(樟南戦) (朝日8/18)
- ◆九国大付「チーム状態はベスト」 強豪・帝京ときまじろ対戦 (朝日8/19)
- ◆九国大付「天野右翼手」 「甲子園で再会」夢かなきまじろ (朝日8/19)
- ◆九国大付9回裏悪夢(帝京戦) (朝日8/20)
- ◆甲子園で2勝の九国大付 想像絶する努力忘れない (朝日8/21)
- ◆甲子園に校歌2回誇り 九国大付野球部が全校報告 (朝日8/21)
- ◆初の校歌うれしかった 九国大付野球部、北九州市長を訪問 (朝日8/21)
- ◆九国大付高野球部副部長 藤本幸治さん (朝日8/21)
- ◆学校と私「野球部若生監督」 (朝日10/19)

プロ野球ドラフト

◆「どんな形でも」喜び (河野選手 巨人育成枠) (朝日10/30)

卒業生関連記事

- ◆八幡大空襲 忘れられない 体験の太田さんが企画展 (朝日9/10)
- ◆イケシオ 庄勝デビュー (朝日9/10)
- ◆イケシオ4強 (朝日9/11)
- ◆イケシオ 照準定まった (朝日9/15)
- ◆スポーツ大陸―新たななる挑戦 池田信太郎 (朝日9/19)



学内広報ポスター「グッジョブ！」

九州国際大学では、「頑張っている学生・生徒・卒業生」の応援ポスター「グッジョブ！」を毎週1回作成しています。大学HPからご覧いただくことができます。

グッジョブ! 検索



◆42 日本を元気にする! ビジネススマンに成長したい
発行日: 平成21年11月10日
登場人物 西春製菓所(人事部)からリクルードされた三ツツエント(キャリアアドバイザー)に転職した河野さん。「転職希望者の皆さんに輝く将来をつかんでもらう」ための奮闘記は必見です。



◆41 Made in KIU が ロンドン五輪に羽ばたく
発行日: 平成21年10月16日
登場人物 今年12月に香港で開催されるウェイトリフティングアジア大会。ロンドンオリンピックの初出場として注目される4年に1度の国際大会に九州大から活躍の太田の重量挙げコンビが出場する。



◆40 この次は、全日本の仲間たちを相手に戦いたい
発行日: 平成21年9月28日
登場人物 今年、4年ぶりに九州六大学野球を制し、最優秀MVP、首位打者、本塁打王に輝いた九州国際大学野球部主将、打撃に輝いた九州国際大学野球部常務、加藤政義選手。7月の日米大学野球でも日本メンバーとして大活躍した。



◆39 27年ぶりの聖地、甲子園へ
発行日: 平成21年7月31日
登場人物 今年、福岡県大会を制し、27年ぶり3度目となる甲子園出場の切符を手にした九州国際大学野球部主将、若生監督率いる九州国際大学野球部ナインの輪を築いて作成された甲子園出場記念ポスター。

九国YaHo!



九国大 NetNews

九国大動画ニュース 「九国 YaHo!」



九州国際大学では、九国大生が製作する動画ニュース「九国やっほー」を毎週1回配信しています。

大学生がレポーターとなり、さまざまな学内行事を学生の視点でお伝えするネット・ニュース（約5分）は、Youtubeからも視聴することができます。



vol.26 「甲子園出場をかけた東予選決勝戦」
(平成 21 年 8 月 5 日配信)

7 月 28 日に甲子園出場の代表権をかけて、死闘を繰り広げた福岡県大会決勝戦（春日球場）の様相をお伝えします。27 年ぶり 3 度目となる甲子園出場をかけて、九国大付野球部の強力打線が爆発します。お楽しみに。



番外編「九国大・第 55 回大学祭 CM 第 1 弾」
(平成 21 年 7 月 21 日配信)

今回は九州国際大学大学祭 CM。大学祭の準備に奮闘する方々のドキュメンタリーショート CM（1 分）にまとめてみました。



vol.25 「2009 年大学祭 PR 活動 食堂ジャック」
(平成 21 年 7 月 20 日配信)

10 月 24・25 日に開催された九州国際大学大学祭。第 55 回目の大学祭では、「入場者数 3,500 人＆観覧店 80 店舗」を目標にさまざまな PR 活動を展開しました。大学祭実行委員会の必死の宣伝活動の様相をご覧ください。



vol.29 「OC 世界のラーメン食べくらべ編」
オープンキャンパス
(平成 21 年 9 月 28 日配信)

8 月に開催された九国大オープンキャンパス。今回は第 1 弾「世界のラーメン食べくらべ編」です。多くの来場者で賑わったオープンキャンパス。中でも、このコーナーは、世界 7 カ国のインスタントラーメンが試食（無料）できるとあって、高校生が連切れることがありませんでした。



vol.28 「前田祇園祭り物語」
(平成 21 年 9 月 16 日配信)

今年でナント！ 804 回目を向かえ、新々と引き継がれてきた「前田祇園祭り」。この前田祇園祭り参加する九州国際大学の学生たちも取材しました。もちろん神主さんや大学 OB の方々も登場します。お神輿の担ぎ手として、地域交流に貢献する九国大生の様子をどうぞご覧ください。



vol.27 「カチドキ！ 甲子園出場」
(平成 21 年 8 月 8 日配信)

福岡県大会で見事、優勝を果たし、甲子園大会出場に決り付けた高校。ここでは、甲子園出場に向けてイキゴミを語る野球部ナインの取材模様をお伝えします。甲子園で九国大旗を巻き起こした彼らのカチドキ。そして、九州唯一のチームを率いる若生監督にもイキゴミを話してもらいました。お楽しみに。



番外編「九国大・第 55 回大学祭 CM 第 2 弾」
(平成 21 年 10 月 17 日配信)

第 2 弾九州国際大学大学祭 CM。今回は、北九州の他大学と一緒に小食の「リバー・ワーク」で宣伝活動をおこなう「情景」の様子を 1 分にまとめて、CM にしてみました。「とにかく、他より目立つ」をモットーにチャレンジした彼らの熱意のダンスは必見です。



vol.31 「OC キャンパスツアー編」
オープンキャンパス
(平成 21 年 10 月 15 日配信)

オープンキャンパス第 3 弾は「キャンパスツアー編」です。九国大生が高校生にキャンパスの施設を案内するというアットホームなこのコーナー。一緒に歩きながら、サークルやアルバイト、授業のことなど、大学生生活に関する情報を教えてもらえるこのコーナーは、高校生にとって大好評でした。



vol.30 「OC 九国大生に聞いてみよう編」
オープンキャンパス
(平成 21 年 10 月 7 日配信)

8 月に開催された九国大オープンキャンパス。第 2 弾の今回は「九国大生に聞いてみよう編」です。沖縄から足を運んで来てくれた高校生や大学生のエスコートで完全に駆け込んできた高校生（笑）。おもしろいおかしな新キャラの 1 年生（女子）も登場しますよ。



vol.33 「ドラフト会議 日ハム指名・加藤政義」
(平成 21 年 10 月 30 日配信)

2009 年プロ野球ドラフト会議で「北海道日本ハムファイターズ」から、3 割目で指名を受けた本学硬式野球部の加藤政義選手。今回は、ドラフト会議で指名された直後の加藤選手の記者会見の様相をお伝えします。緊張するドラフト会見の臨場感をお楽しみください。



vol.32 「OC 学食でランチ編」
オープンキャンパス
(平成 21 年 10 月 27 日配信)

オープンキャンパス第 4 弾は「学食でランチ編」です。九国大の学食ランチに舌鼓を打つ高校生。今回は熊本や山口から来てくれた女子高生に感想を聞いてみました！

ザ! 北九州の近代化遺産

近代化遺産の魂

八幡製鐵所 遠賀川水源
「中間ポンプ室」

文:清水憲一(経済学部教授)

製鉄所は「水喰い虫」

完成品の鋼材を造るのに、鋼材1トに対して石灰4.5トを要した。このため、官営製鉄所は筑豊炭田隣接地を選んで立地した。この時、水利も立地条件であったが決定的要因ではなかった。

しかし、創業事業を完成させようとした官営製鉄所の「第一期拡張」に際して、水量の確保がクローズアップしたのだ。鋼材1トの生産に対して200トという膨大な冷却水を要した。当初の枝光川・鬼瓦貯水池では当然、間に合わず、そこで遠賀川からの引水が計画された。下流農業地の水利権を買収し、中間伊左座に取水場を設け、10km余の導水管を設置した。

1910年に竣工した取水ポンプ室は、2連棟でトータル梁間22.5m、桁行き38m、軒高7.4mの赤煉瓦壁にフイクトラスの鉄骨小屋組みが架かっている。赤煉瓦を主としながら、建物のコーナー部及び腰部は製鐵所自製の鋳造煉瓦を使用した。円形を取り入れた窓形状及び内部の柱間のアーチ形状からは、教会の荘厳な雰囲気醸し出され、窓廻りの、まぐさ、もすべて煉瓦で処理されるといふ、ポンプ室としては場違いとも言える意匠性の高い建築である。



- ① 1910年に竣工したポンプ室
- ② 蒸気機関時代のポンプ室内部
- ③ 現在はモーター動力となっている



1910年に竣工した取水ポンプ室は、2連棟でトータル梁間22.5m、桁行き38m、軒高7.4mの赤煉瓦壁にフイクトラスの鉄骨小屋組みが架かっている。赤煉瓦を主としながら、建物のコーナー部及び腰部は製鐵所自製の鋳造煉瓦を使用した。円形を取り入れた窓形状及び内部の柱間のアーチ形状からは、教会の荘厳な雰囲気醸し出され、窓廻りの、まぐさ、もすべて煉瓦で処理されるといふ、ポンプ室としては場違いとも言える意匠性の高い建築である。

八幡製鐵所の世界遺産登録に向けて、いまこの建物が脚光を浴びている。現在では、動力が蒸気機関からモーターに替わったものの、往時の姿を今にとどめている。ただし今は、この建物の内部を一般には見ることができない。



④ 遠賀川の豊富な水量を汲み上げるポンプ場



ザ・北九州学「近代化遺産の旅」の執筆者、清水教授がまとめた「北九州・筑豊の近代化100選」が出版されました。(書店にて販売中)

九国大の
キャリア支援

文部科学省「学生支援推進プログラム」採択
九国大のキャリア支援が就職活動をアツくする。

この度、九州国際大学の「キャリア形成支援プログラム」が、文部科学省の平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択されました。

KIUキャリア形成
支援プログラム

キャリア支援室が取り組んでいる「KIUキャリア形成支援プログラム」(略称 KIU-SPICE: Kyushu International University Support Program In Career Education) は、様々な場面において学生に「気づき」のための刺激(スパイス)を与え、学生自らが考え、行動し、自立した社会人となり得るためのキャリアサポートです。

本学では1年次から卒業後の将来を視野に入れて、自己発見と仕事への理解を深めるキャリア教育プランを立てています。その後も、段階的により効果的に就職活動が展開できるように「理論」と「実践」の両面からキャリア形成支援を行っています。

1. 「キャリア教育(理論)」入学次から4年間を通じて、授業として体系的にカリキュラム化され、社会人基礎力、人間力、就職力を身につけるのが特徴。

2. 「キャリアサポート(実践)」キャリア教育の理論を踏まえた、実践的かつ即効性の高い就活サポートとして、①エクステンションセンター講座②就職なんでも相談③就職活動支援講座④インターンシップなどを展開しています。

この理論と実践は、九国大の教育理念でもある「理論と実践両面に明るい人材」の創出に直結したキャリア形成支援プログラムです。卒業後に後悔しないよう、ぜひ、このプログラムを活用してください(詳細は、3号館1階キャリア支援室まで)。



就活サポーター SDS 発起人の笠置茂さん(法学部4年生)

11月16日(月)にキャリア支援室前のスペースで始まった「就活サポーター SDS」。

SDSは、S(私服で)デスクルS(就職活動の頭文字)文字どおり就職活動の入口として、気軽に立ち寄り、気軽に相談できるという思いから設立したという。発起人は法学部4年生の笠置さん。「自分自身の就職活動を振り返ったとき、先輩から生の声を聞いたら、もっと効果的に就職活動を展開できると思った」からという。

笠置さんが一人ひとりに地道に声をかけて集まった14名のサポーターは、商社・自動車ディーラー・金融・食品・製薬関係から内定を受けており、コミュニケーション能力は折り紙つきだとか。そのほか公務員試験(警察官)合格者や大学院進学希望者も待機しており、さまざまな分野に対応している。ナント、中国留学経験者もいて、留学生にも対応しているというから驚きだ。



就活サポーター 内村俊さん(GA学部4年生) 内定: 宮崎県警、警視庁 一言: 「後悔するより前に、努力しよう!!」

私は、宮崎県警と警視庁から内定を受けました。公務員試験は、長期戦ですが、やる気を維持するのが意外に大変。停滞期こそ、私たちのアドバイスで、後輩を精神面からサポートしたいですね。



就活サポーターのプロフィールを紹介する掲示板



キャリア支援室スタッフ

●九州国際大学ホームページ リニューアルスタート!!



トップ画面の紹介

ヘッドバナー

ヘッドバナーを利用者別に分けて、目的のサイトが簡単に見つかるよう工夫しました。

受験生サイトバナー

九州国際大学の入試に関するすべての情報を「入試情報サイト」にまとめました。受験生の皆さんは、まずこちらをクリック!

注目のコンテンツ

注目度の高いコンテンツを一挙にまとめて紹介しました。この機会にぜひ一度、各コンテンツをご覧ください。

News & Topics

大学のニュースと Topic をブログで紹介しています。過去の記事はバックナンバーから探すことができます。

ランダムバナー

主に大学行事の告知 (PR) バナーとして設置しました。ページを更新するたびに、バナー情報が切り替わります。

お知らせ

学術講演会の開催や同窓会のお知らせなど、大学からのさまざまなお知らせをここから確認することができます。

●大学 携帯サイト リニューアルスタート

※詳細は右のQRコードから確認できます





九州国際大学
KYUSHU INTERNATIONAL UNIVERSITY
MOBILE ver.

(1) アクセス
(2) 進路相談
(3) 学部について
(4) 入試について
(5) 資料請求
(6) お問い合わせ
(7) 交通手段

■News & Topics
1. [入試情報] 29日(土)のトピック「進路相談」について (08/19 09:01)
2. [入試情報] 日曜日には「アイト」2008/04 08:57
3. [入試情報]「レ」CM で「アイト」2の告知 (07/30 10:42)

過去の News & Topics 一覧



楽しさと、育てる教育を体感!



80年

九州国際大学を創設として

九州国際大学は1930年の「九州法学校」を源流として、2010年で80年を迎えます。80周年を迎えるにあたり、学生のアンケートをもとに左のデザインが決定されました。



1958年、校光に誕生した九州国際大学付属高校(男子部)は、2008年で創立50周年を迎えました。このシンボルマークは創立50周年を記念して作成されました。

学園広報誌「キュウトリビ」
vol.5/2009 秋号
発行日/2009年11月30日

発行 学校法人九州国際大学
学園広報誌作成委員会
〒805-8513
北九州市八幡東区平野二丁目5-1
TEL:093-671-8900 FAX:093-671-9032